

施策	6302 観光ネットワークの形成							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有		
対象	観光施設の利用者							
施策が目指す姿	観光資源をつなぐサイクリングロードの整備、アンテナショップの設置、観光情報提供体制の強化を図る。							
成果指標	観光施設の年間利用者数 現状値 255万人 H29年度目標値 270万人							
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [人/年]	予定	2,550,000.00	2,587,500.00	2,625,000.00	2,662,500.00	2,700,000.00	
		実績	2,163,645.00	2,209,841.00				
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	予定						
		実績						
	成果指標4 []	予定						
		実績						
	トータルコスト (千円)	予定	72,069	52,413	0	0	0	
実績		68,444	88,946			0		
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標「観光客入込数」を現状値から目標値に向上させるためには、点在する観光資源を有機的にネットワークさせることが必要なため本単位施策の貢献度は高い。						
	達成状況	観光施設の年間利用者数は目標の85%であり未達となったが、観光施設の年間利用者数は年々増加している傾向である。						
	課題	市の一体感を生み出す周遊モデルルートの設定や地域をつなぐ様々なネットワークを形成するとともに、効果的な情報発信を行う。						
	取組方針	体験メニューや食など様々なテーマに沿った観光モデルルートを設定するとともに、県内外への誘客活動を強化する。						
外部評価	<p>本施策の成果指標である観光施設の年間利用者数は未達が続いているが、下位の事務事業は概ね目標が達成されているということは、新たな取組みや事業の掘起しが必要であることも考えられる。</p> <p>また、本施策の主要事業が「サイクリング事業」のみとなっていることは、観光振興施策として違和感を感じる。次期計画策定の際には検討のうえ追加すること。</p> <p>体験型観光のメニュー化や自転車や等を活用した周遊ルートの創出など、他の施策と連携した取組みを強化し、計画最終年度の目標達成に向けて取組まれない。</p> <p>また、市内の各観光協会には温度差があると感じられており、機能強化や今後のあり方についても検討されたい。</p>							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度	
	313201	観光振興宣伝事業費(栃木)				26,159	100	
	313202	観光振興宣伝事業費(大平)				2,639	100	
	313203	観光振興宣伝事業費(藤岡)				9,138	100	
	313205	観光振興宣伝事業費(西方)				754	100	
	313206	観光振興宣伝事業費(岩舟)				4,303	100	
	314401	栃木県東京スカイツリーアンテナショップ事業費				4,019	100	
	711101	観光ネットワーク サイクリング事業				2,350	100	
	715701	(仮称)観光情報物産館整備事業費				38,079	100	
	313204	観光振興宣伝事業費(都賀)				1,505	79	
724401	国際観光まちづくり事業費					0		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020106	予算事業コード	711101	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策							
事業名	観光ネットワーク サイクリング事業										主	6302	観光レクリエーションの振興		観光ネットワークの形成						
担当部課 係・担当チーム名	総合政策部 総合政策課 政策調整担当 政策調整チーム						担当者	鈴木 邦彦				従									
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	5,000 千円					
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木県わがまち推進事業費を活用し栃木県、宇都宮市、日光市などと広域的な連携による自転車を活用した地域活性化事業としてサイクルスポーツイベントに参加し、栃木市のサイクリングコースや魅力的な観光資源のPRを行い、自転車愛好家等の新たな観光客の誘客を図る。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・市民が気軽に楽しめるサイクリングコースを紹介し新たな栃木市の魅力を感じていただき栃木市の一体感を醸成する。 ・幕張メッセで開催されるサイクルイベント(サイクルモード)に出展し、自転車愛好家に自転車を活用した観光PRを行い観光客数の増加を図る。									
	成果目標	観光施設の年間利用者数 現状値 255万人 H29年度目標値 270万人																			

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成26年度						平成27年度					
	県支出金		50	100	【事業の内容】 ・自転車愛好家の誘客を図るため、栃木県わがまち推進事業を活用し、栃木市のサイクリングコースや魅力的な観光資源のPRを行なう。 【成果】 ・サイクルモード出展 11月7~9日 来場者数31,149人 ・サイクリングマップの作成(10,000部)											
	地方債		0	0	【事業内容】 ・栃木県わがまち推進事業(広域連携事業)を活用しサイクルイベントに参加して栃木市のサイクリングコースや魅力的な観光資源のPRを行い、自転車愛好家等の新たな観光客の誘客を図る。 サイクルモード出展(幕張メッセ11月) サイクリングマップ印刷(18,500部) 【事業成果】 ・サイクルモードでの栃木市のPRチラシの配付											
	その他特財		0	0												
	一般財源		50	486												
	事業費 a		100	586												
	人件費 b		2,250	2,250												
減価償却費 c		0	0													
総事業費 a+b+c		2,350	2,836													
結果指標 1		1,500.00	2,000.00	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 2		6,000.00	1,000.00	PRパンフレット配布数	サイクルモードPRブース(3日間)での配付枚数			枚		妥当	無	適正	有効	無	有	
				サイクリングマップ配付数	観光拠点における年間のサイクリングマップ配付数			枚								

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・サイクリングコースの周知を通して自転車愛好家等に栃木市の魅力を伝えるため、各種イベント開催時に積極的なPRが必要である。 ・サイクリングコースを活用したイベントについて検討していく。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--